

※この内容はあくまで記載例です。

ランドスケープ遺産及び北の造園遺産候補 応募用紙

◆ 候補の名称： 名寄公園

◆ 整備・完成年： 1923(大正12)年、現在は都市公園(総合公園)22ha

◆ 所在地： 名寄市緑ヶ丘

◆ 推薦候補が持っている価値 (※複数でもかまいません)

() 技術的価値 () 造形的価値 () 地域的価値
() 景観形成価値 () 自然の保全・創出価値 () 思い入れ価値
() その他 ()

◆ 推薦理由 (※できるだけ簡潔に記載して下さい。)

(歴史的経緯, 事実の経過)

1901年(明治34年)、名寄に植民地が区画され、その隣接地に市街地面積の37%に相当する約69haの公園予定地が設けられた。1922年(大正12年)から公園建設が始まり、北海道帝国大学の星野勇三教授と前川徳治郎助教授によって設計された。

(評価される点, 価値, 利用)

計画図では運動場、池、競馬場などが示され、説明書ではミズナラ原生林の保護が訴えられていたが、その後、運動場、競馬場、ミズナラ原生林の一部は失われた。1989年(平成元年)からの改修工事を経て、現在は総合公園となっている。

明治、北海道庁時代の植民地区画に予定された公園が実際に公園化され、現在も公園敷地の輪郭をとどめ、当時の池、ミズナラの原生林が残されていることの価値は高い。

◆ 推薦者お名前： 日本造園学会北海道支部事務局

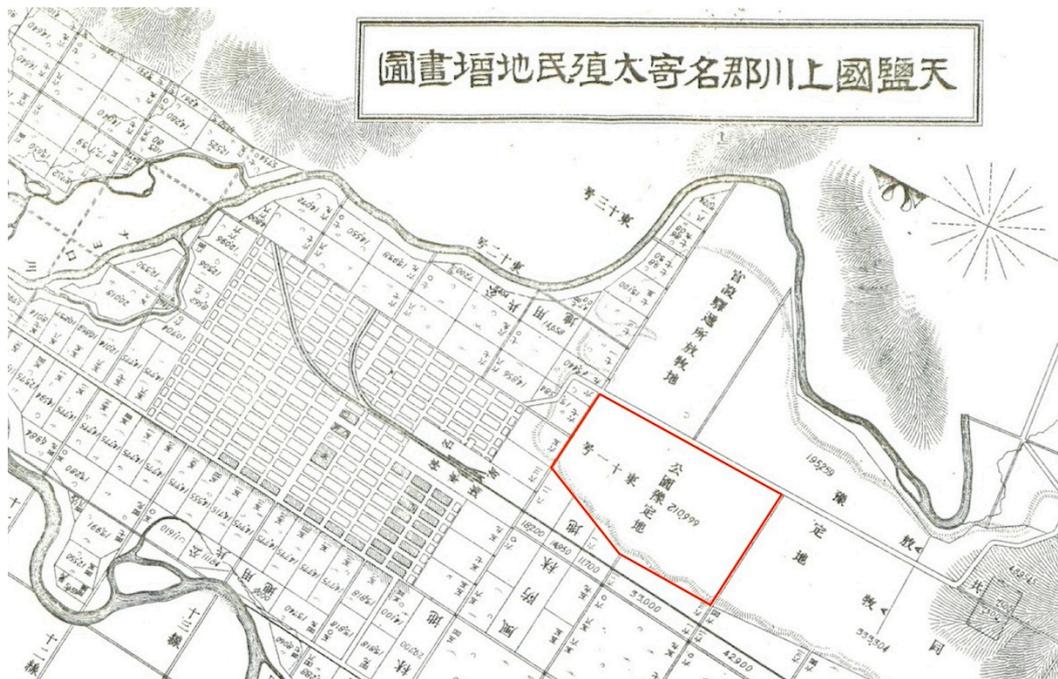
◆ ご連絡先

住所：〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話番号： 011-111-1111 Fax 番号： 011-111-1112

Eメール： isan@jila-hokkaido.com

◆ 写真またはメモ(自由記載)等



- ◆ 上記以外の文献や設計図書、写真などの情報は、適宜参考資料として添付して下さい。
- 参考資料-1 名寄公園設計説明書 1922(T11) 星野勇三・前川徳次郎
 - 参考資料-2 名寄公園の沿革(年表)
 - 参考資料-3 初期からの写真集